

○今年にあさつゆ 10周年になります！

新年のあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、天候不順で果物部門などに大きなダメージを受けましたが、全体としては久々に売上を大きく伸ばす事が出来ました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

早いもので、今年あさつゆは10年目を迎える事となりました。10年前のあさつゆオープンの日、挨拶の中で「私たちはこの直売所を県下でも有数の直売所にしたい」と抱負を述べましたが、おかげさまで現在あさつゆは県下でも、独自の輝きを持つ直売所として評価されるに至りました。有利な立地とは言えない中で、大きな成果を上げることが出来たのはすべて出荷者の皆様の努力の賜物であります。感謝にたえません。

直売所の魅力と発展の原動力は、出荷者の皆様の創意工夫、やる気と元気、これに尽きると思います。このことを胸に刻み、生産者の皆さんが明るく、楽しく、創意を出して日々出荷出来る環境を作るために、役職員一同職務に励みたいと思います。

本年が皆様にとってより良い年であることをご祈念いたします。

平成26年 元旦

あさつゆ運営組合長 伊藤良夫

冬こそ農作物をたくさん出そう！～野菜の貯蔵法その②～

今回はあさつゆ組合員の方が独自に行っている野菜貯蔵法をお知らせします。

①おススメ貯蔵法～澤山啓司さんの場合～

ダイコンは写真のように納屋の中でよく洗った肥料袋の中に保存しています。葉っぱは切り落とし、全体を水で洗い流します。この状態で1～2月までは保存できます。できるだけ立てておき、その際凍みないようにマットなどを敷いておくとよいでしょう。



一方、ハクサイは屋外の地面が窪みになっている部分に貯蔵しています。上に麻袋とブルーシートをかけてできるだけ温度を一定に保っています。

ニンジン畑に収穫せずにおき、もみがらを株元にかき、さらに寒冷紗などのべたがけ材を敷いて保温に努めます。12月中であればこの状態でも十分です。

②おススメ貯蔵法～今井宗徳さんの場合～



が大切です。

ジャガイモは昔養蚕をしていた小屋を使って保存しています。小屋の中に深さ30cm程度の穴を掘り、収穫したジャガイモをそのまま入れます。ネズミ対策として灰をまぶしておきます。その上から麻袋をかけ、さらにべたがけ資材等で保温します。

この状態なら春まで保存することができます。ただし、前述のようにネズミに狙われやすいので、定期的にチェックすること



今年の栽培を振り返って～普及員による農業相談～



生産者

磯江千鶴子さん

- ・昨年夏の暑さが落ち着いてきた頃、ハウスの中でナメクジが大発生。出荷間近のパンジーが大きな被害に合いました。農薬を使っても効果がなく、床から離しても上がってきてしまいます。今年も大発生しないか心配です。
- ・昨年初めて小菊を栽培しましたが、赤はお盆前に、白と黄はお盆後に咲き、せっかくきれいに咲いた花を適期に出荷することができませんでした。

ナメクジは11～5月に産卵し、4月に孵化のピークを迎えますので、今年の春も発生することが予想されます。ナメクジはなかなか薬剤が効きにくいですが、ナメクジが活動的になる夕方以降に使用するとよいでしょう。また、ナメクジはビールが好物で寄ってきます。ハウス内にビールを入れた容器をいくつか置き、更にその中に薬剤を入れておくとより効果的です。

小菊は品種によって咲く時期が異なります。また、それぞれピンチの適正時期が違いますので、異なる品種を同じ時期にピンチするとよくありません。まずは栽培する品種の選定から始めてみてはいかがでしょうか？もし不安であれば普及センターやJAにお尋ねください。



普及員



生産者

山越建さん

840kg/10a を目指して

「経費をかけずに収益を上げ、かつ安心・安全な農産物を生産する」ことがこれからの農業だと感じています。昨年は「30×30cm」の間隔で植える方法（尺角植え）を全ての水田で行いました。これは、苗の量が半分ほどですみ、イネ本来の力が発揮されることで、病気に強く、倒伏に強い株になり、減農薬栽培にもつながります。ポイントは窒素量を増やし、適期にケイ酸処理を与えることです。結果は700kg/10aでした。

水稻の粗植栽培は、省力低コスト技術として注目されている技術です。通常の30cm×15cmの並木植えと比べて、今回の尺角植えの場合は半分の11.1株/mになります。機械植えの場合は株間の調節で対応できます。注意すべき点としては、株数が少ないために水面に現れる面積が多くなり、雑草の発生が多くなる傾向にあることです。代掻きを丁寧に行い、適期の肥料散布や水管理により、このような優良事例に繋がります。特に、無効分づつを減らし、適正茎数を確保するために、中干しはしっかりと行うようにしましょう。



普及員

あさつゆ連絡先

電話番号：0268-41-1062

FAX：0268-41-1063

技術事項作成協力

上小農業改良普及センター（近藤・岡崎）

電話番号：0268-25-7156（直通） FAX：0268-23-2161